

社会資本総合整備計画

社会資本整備総合交付金

令和05年12月15日

計画の名称	世界ものづくり対流拠点の中部圏における広域的産業・物流活性化計画													
計画の期間	令和03年度～令和07年度（5年間）												重点配分対象の該当	
交付対象	愛知県													
計画の目標	愛知県・岐阜県・長野県の中部圏は、高規格幹線道路（中央自動車道・東名高速道路・三遠南信自動車道など）で密接にネットワークが形成されており、日本でも有数の貨物取扱量を誇る名古屋港、三河港を有する。本地域では自動車関連産業、高級国産木材として有名な木曽ヒノキを中心とした木材などの流通施設において、密接な連携による産業・物流活動が活発に行われている。また、中部圏のものづくり産業、ライフサイエンス産業の有する強みを活かし、成長していく中部圏を支援するため新たな産業拠点の形成・発展を図るなどの取組と併せて必要な基盤整備事業を実施することにより、本地域のさらなる産業活性化を目指す。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		6,250	A	6,250	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30		R7末
1	【愛知県・岐阜県・長野県 共通目標】連携する3県における産業生産額（製造品出荷額等）の全国シェア率の増加			
	【愛知県・岐阜県・長野県 共通目標】産業生産額（製造品出荷額等）の全国シェア率の増加 （産業生産額の全国シェア率の増加）＝（評価時点の産業生産額の全国シェア率－H30の産業生産額の全国シェア率）18.4％→19.0％	18％	％	19％
2	【愛知県 単独目標】愛知県における産業生産額（製造品出荷額等）の全国シェア率の増加			
	【愛知県 単独目標】産業生産額（製造品出荷額等）の全国シェア率の増加 （産業生産額の全国シェア率の増加）＝（評価時点の産業生産額の全国シェア率－H30の産業生産額の全国シェア率）14.7％→14.9％	15％	％	15％

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
○全体事業費に占める効果促進事業費（提案事業）割合は、0％となる。○その他事項については（参考様式2）整備計画関連事項に記載。												

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
広域連携事業	A11-001	道路	一般	愛知県	直接	愛知県	都道府 県道	改築	（一）須美福岡線	バイパス L=2.10km	岡崎市、幸田町	■	■	■	■	■	1,330	1.7	-	
	A11-002	道路	一般	愛知県	直接	愛知県	都道府 県道	改築	（主）豊橋乗本線（有海 バイパス）	バイパス L=0.50km	新城市	■	■	■	■	■	2,000	5.0	-	
	A11-003	道路	一般	愛知県	直接	愛知県	都道府 県道	改築	（一）富岡大海線（有海 バイパス）	バイパス L=0.90km	新城市	■	■	■	■	■	1,200	5.0	-	
	A11-004	道路	一般	愛知県	直接	愛知県	都道府 県道	改築	（一）西尾幡豆線	バイパス L=1.50km	西尾市	■	■	■	■	■	1,120	1.3	-	
												小計						5,650		
広域活性化事業	A11-005	道路	一般	愛知県	直接	愛知県	都道府 県道	改築	（一）幸田幡豆線	バイパス L=3.60km	西尾市				■	■	600	1.8	-	
		R6より新規																		
												小計						600		

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
											合計						6,250		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R03	R04	R05	R06	
配分額 (a)	190	216	157	124	
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	190	216	157	124	
前年度からの繰越額 (d)	276	89	92	96	
支払済額 (e)	377	213	153	135	
翌年度繰越額 (f)	89	92	96	85	
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					